

# BCP策定で業務の改善を図る — 株式会社 積信堂 —

## お客様との信頼関係一筋45年（企業概要）

株式会社 積信堂（代表取締役社長：金野 達也）は、現社長の父が昭和45年に出版社書籍を中心に上製、並製本の製本業として創業。顧客からの通常のラインにはのりにくい、手の込んだ難しい要望にも生真面目に取り組むことで信頼を得、着実に実績を積上げてきた。製本加工を一気通貫で対応できる、製本専門家である。

この実績に裏付けられた業務の積み重ねで、顧客のさらなる信頼性を形成、比較的安定した業績維持するとともに、近年の出版不況の深刻化に対しては、書籍だけでなくカタログやテキスト関係など幅広い製品を手掛けることで事業の領域を広げ、業績のさらなる拡大に努めている。

創業以来製本専業であり、顧客との信頼を重んじる当社の経営姿勢から、最近では印刷業者からの注文が増えている。



本社・第1工場

## 難しい製本加工も自社で一貫処理

創業以来45年、積信堂の社名が標榜するようにお客様の信頼を積上げることを社是として、上製製本用のコンパクトラインをはじめ、並製製本用エクセルライン等のほか一切の付帯設備で全ての工程を自社内で加工・仕上げする体制をとっている。



←コルプス社製コンパクトライン

## 通常の生産ラインに乗らないものにも対応

当社は、顧客の難しい要望や、現在抱えている技術的問題点などに対して、長年の経験に培われた知識や技術で応え、その製品実現化に協力してきた実績が多くある。また、顧客の製品特性に合わせた提案型営業も積極的に行っている。



## BCP策定への取り組んだ理由

BCPについては、以前取引先が催した業者の経営力向上を目指した会合で、東京都がすすめる印刷業者の事例発表会があり、興味を持った。しかし、2011年3月の東日本大震災でも、当社はあまり実害がなく、その実効性にも疑問があり、なおざりになっていた。そのうち、知り合いの同業者で独身で独り住いの従業員の死亡で、身内との連絡がとれない事態が発生。当社でも災害発生時の従業員の家族等との連絡には不備があることを知った。そのような状況下で、板橋BCP策定についての支援事業を知り、従業員の安心感や顧客からの信頼維持も考え、今回当社もBCP策定に取り組むことを決意した。



株式会社 積信堂  
代表取締役社長  
金野 達也氏

## 策定にあたり特に注力した点

- ・従業員の住所や特に独身者については、親族等への連絡先の情報収集については、個人情報保護に配慮しつつ実施した。
- ・社内外での電話が通じない場合に備え、工場間の連絡を含めてトランシーバーの採用とその活用方法のルール化を図ることにした。
- ・協力工場リスト作成では、保有する加工設備や処理能力等も把握できるように努力した。

今回策定したBCP文書は、決算処理後、年に1度更新することを社内ルールとして決め、合わせて更新時にBCP訓練を実施することにした。これまでの防災訓練からさらに踏み込んだ訓練を継続し、万が一に備えたい。



## BCP策定の感想・効果

BCP策定の支援を受ける過程で、本来保持しているべき情報が不備または散逸していることを痛感した。特に万が一の事態において、設備の仕様書や取説等の不備にどのように今後対処していくべきか、課題が残る。

その一方、自社なりに被災時の復旧対策に一定の作業手順が明確になった。

被災時の製本業の代替加工先の確保は事実上困難であるが、既存の協力工場の設備や能力が把握でき、従来以上の協力体制が築ける見通しがついた点は、今後のサプライチェーン強化にプラスとなると評価する。

### 事業者情報

事業者名	株式会社 積信堂
本社所在地	板橋区新河岸1-24-33
設立	昭和45(1970)年
資本金	2,000万円
従業員数	37名(パート含む)
代表者	金野 達也
Tel	03-3935-6451(代表)
E-mail	t_konno@sekishindo.co.jp